

6/30_土・7/1_日

七ツ寺共同スタジオ

原作 アントン・チャーホフ
構成・演出 寂光根隅的父

出演 後藤好子 田中りえ 加藤真紀子
笹岡豪 酒井稔 菊正
獅子見琵琶 寂光根隅的父

双身機関
第21回公演

三人姉妹



三人姉妹

双身機関
第21回公演

原作 アントン・チェーホフ
構成・演出 寂光根隅的父

1995年の旗揚げ以来、「身体表現としての演劇」を標榜し、神社、商店街、空きビルなど様々な空間での実験的な公演活動が続ける双身機関が、昨年6月 第1回チーフホフフェスティバルに参加、近代演劇の象徴とも言うべき、チーフホフの「三人姉妹」を初めて上演しました。

帝政末期のロシアで書かれた戯曲の世界を現在に置き換え、文明とは、人間とは何か？を問いかけた問題作が1年ぶりに名古屋に凱旋します。

ご期待下さい！

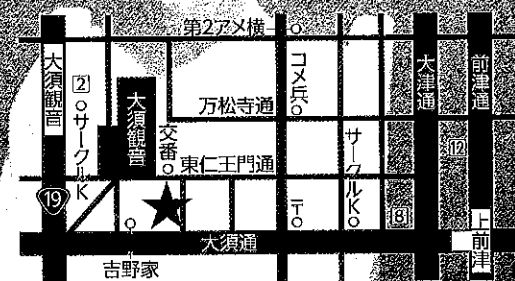
【出演】 後藤好子 田中りえ 加藤真紀子 笹岡豪 酒井稔 菊正 獅子見琵琶 寂光根隅的父

6/30(土)・7/1(日)

14:30 開場 15:00 開演 (14:00~受付開始)

セツ寺共同スタジオ

〒460-0011 名古屋市中区大須2-27-20
(地下鉄鶴舞線「大須観音」駅2出口より徒歩5分)
TEL:052-221-1318 (HP) http://nanatsudeia.com



※会場には駐車場・駐輪場はございませんので、公共交通機関をご利用いただくか、近隣のコインPをご利用ください。

チケット

【一般】 ●前売 3,000円 ●当日 3,500円
【学生】 ●前売 1,500円 ●当日 2,000円

チケット取扱い 発売開始 2018年5月1日(火)

こりっち舞台芸術 <https://ticket.corich.jp/apply/90600/>

予約・問合せ 双身機関

✉ info@soushinkikan.org ☎090-1625-6425(平日のみ)
🌐 <https://soushinkikan.jimdo.com/>

音 響 尾関崇之 (EARTH SOUND FACTORY)
照 明 大林さや花
舞台監督 柴田頼克 (電光石火 発座/かすかひ創劇団)
写真撮影 構久夫 山口美咲
宣伝美術 早野篤子
制作協力 谷井あや子

制作写真 ©山口美咲



双身機関 Soushinkikan

1995年3月結成——
2005年には商店街での市街劇「箱男と箱女」(原作:安部公房)を上演、2006年にはパフォーマンス作品「ファシズム」をもって韓国ソウルのギャラリー、名古屋陶磁器センター、東京都美術館、三重県伊勢市のカフェを巡演、その後も野外広場、神社での上演を重ね、常に既成の劇場ではない新たな空間との出会いを求め続けている。
代表の寂光根隅的父は利舞演劇人コンクール2012にて優秀演出家賞・観客賞を受賞。また近年では東京や鳥取、松本、上田など各地の演劇祭への招聘も多く、イヨネスコやベケットなど先鋭的な劇作家やオリジナルの作品を斬新な手法で上演し好評を博している。

寂光根隅的父 Jakounezuminopapa

演出家、双身機関代表。高校在学時より演劇を始める。聖學館大学国文学科卒。1990年代にアズベスト館、天使館などで舞踏を学ぶ。1995年に双身機関を結成。以後、企画・演出を担当、身体と空間を軸にした実験的な公演活動が続けている。
セツ寺共同スタジオの企画・制作スタッフとしても長年活動、専属市民劇団「猫足ウィローズ」を2010年に結成、ディレクターを務める(現在は独立市民劇団)。
代表作は「ボール」「市街劇「箱男と箱女」(原作:安部公房)」「ファシズム」「阿片戦争(作:寺山修吉)」「授業(作:ウジェーヌ・イヨネスコ)」「しあわせな日々(作:サミュエル・ベケット)」「(双身機関)」「ハムレットマシン(作:ハイター・ミュラー)」「昔の女(作:ローランド・シンメルプフェニヒ)」「ゴドーを待ちながら(作:サミュエル・ベケット)」「(セツ寺プロデュース)」「夢十夜」(寂光根隅的企画)、「オン・ザ・レインボウ」(猫足ウィローズ)、「つく、きえる」(作:ローランド・シンメルプフェニヒ) (愛知県立芸術大創立50周年記念事業)
合気道初段。舞台芸術財団演劇人会議員。